

入場無料 聴講無料

2019年12月7日(土)・8日(日)

令和元年度 考古学セミナー

あいちの考古学 2019

主催 名古屋市博物館 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

会場 名古屋市博物館

講堂(定員220人 先着順)・展示説明室(入退室自由)

愛知県内及び近隣の考古学の最新情報をお届けします。

大学考古学研究室・各教育委員会や調査団・市民団体などの活動の発表会です。

入場・聴講共に無料です。ご興味のある方、是非ともご参加ください。

12月7日(土) 13時から16時30分(12時30分開場)

◎プレゼンテーション

12月8日(日) 10時から16時(9時30分開場)

◎プレゼンテーション(10:10-11:20)

◎両日ともにポスターセッションを開催



12月8日(日) シンポジウム 12時30分から15時30分

城下町を彩った金・銀・銅

戦国時代から江戸時代初頭にかけての城下町を彩った金・銀・銅について、最新の研究成果から考えます。これらの金属製品や製作関連遺物が出土した遺跡の事例紹介を行い、パネルディスカッションでは城下町を彩った金・銀・銅製品とその工房・職人などのあり方に焦点をあてます。

◎講演 「城下町を彩った金・銀・銅」

沓名 貴彦 (独立行政法人 国立科学博物館 理工学研究所 科学技術史グループ 研究主幹)

- 事例報告1「多気北畠氏遺跡」熊崎 司(津市教育委員会)
- 事例報告2「鷺山遺跡群」井川 祥子(岐阜市教育委員会)
- 事例報告3「清洲城下町遺跡」鈴木 正貴(愛知県埋蔵文化財センター)
- パネルディスカッション

パネラー: 沓名 貴彦、熊崎 司、井川 祥子、鈴木 正貴、

堀木 真美子(愛知県埋蔵文化財センター)

司会: 蔭山 誠一(愛知県埋蔵文化財センター)

【問い合わせ先】

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017
愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24
Tel. 0567-67-4163 Fax. 0567-67-3054
<http://www.maibun.com/top/>

会場 名古屋市博物館

*手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館までお知らせください。



〒467-0806

愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

電話 052-853-2655

Fax 052-853-3636

<http://www.museum.city.nagoya.jp>

<<交通案内>>*公共交通機関をご利用ください。

地下鉄(桜通線)

「桜山」下車 4番出口から徒歩5分

バス 金山総合駅発 名古屋市営バス

金山14系統(桜山経由) 「博物館」下車

令和元年度 考古学セミナー

あいちの考古学 2019

12月7日(土) 13時から16時30分(12時30分開場)

◎プレゼンテーション

河嶋 優輝(愛知県埋蔵文化財センター)「愛知県の古代寺院における造営尺度の推定」
林 順(名古屋大学大学院)「横穴墓群にみられる階層構造の分析静岡県域を対象として」
立原 遼平(青山学院大学大学院)「古代のやきもの産地・猿投窯の施釉陶器日光男体山の信仰と施釉陶器」
徳永 司(愛知学院大学大学院)「愛知県新城市萩平遺跡A地点隣接地第7次調査の成果」
下田 大真(愛知学院大学)「第3次古城山窯跡発掘調査報告」
宮川 菜々子(愛知県陶磁美術館)「雲錦手の研究幹・葉・花の図像典拠に関する考察」

12月8日(日) 10時から16時(9時30分開場)

◎プレゼンテーション(10:10-11:20)

白樫 淳(株式会社アコード)「兄弟を探して清洲城下町出土瓦編」
大原 涼子(四日市市教育委員会)「久留倍官衙遺跡公園について」
伊藤 聡(関市文化財保護センター)「岐阜県関市古町遺跡発掘調査成果」

◎両日ともにポスターセッションを開催

愛知県埋蔵文化財センター「設楽地域の発掘調査成果ほか」
青木 修・佐久間 真子・井上 あゆこ・宮川 菜々子・
中野 耕司・鈴木 智恵・安藤 悟(犬山焼ミュージアム)「雲錦手春秋を彩る犬山焼」
青木 修・大西 遼・立原 遼平・中里 信之(東海窯業史研究会)
「古代のやきもの産地・猿投窯の施釉陶器白瓷生産の拡散と猿投窯系工人の動向を考える」
大原 涼子(四日市市教育委員会)「久留倍官衙遺跡公園について」
白樫 淳(株式会社アコード)「兄弟を探して清洲城下町出土瓦編」
早川 由香里(東海市教育委員会)「2019年度 東海市畑間・東畑遺跡の発掘調査について」
西尾市教育委員会『新編 西尾市史 資料編1 考古』
山田 哲也(株式会社イビソク)「近年の発掘調査について」
銅坂 有紗(春日井市教育委員会)「熊野高見遺跡・熊野水田遺跡」
大塚 友恵(NPO 法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク)「学校における考古資料の活用」
植田 美郷(安城市教育委員会)「史跡本證寺境内発掘調査成果」
西村 誠治・植木 萌(ナカシャクリエイト株式会社)「文化財を用いた情報発信の一事例」
竹原 弘展(株式会社パレオ・ラボ)「遺跡から出た何だコレ!? 科学分析で材質を探る」
吉田 真由美(鈴鹿市考古博物館)「土器で塩を作ってみた!」
島田 莉菜・方 美樺(名古屋大学大学院)「2019年度豊田市伊保古瓦出土地(伊保白鳳寺)の発掘調査」
考古学フォーラム「考古学フォーラムのご案内」

12月8日(日) シンポジウム 12時30分から15時30分

城下町を彩った金・銀・銅

◎講演 「城下町を彩った金・銀・銅」

沓名 貴彦(独立行政法人 国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ 研究主幹)

- 事例報告1「多気北畠氏遺跡」熊崎 司(津市教育委員会)
- 事例報告2「鷺山遺跡群」井川 祥子(岐阜市教育委員会)
- 事例報告3「清洲城下町遺跡」鈴木 正貴(愛知県埋蔵文化財センター)
- パネルディスカッション

パネラー: 沓名 貴彦、熊崎 司、井川 祥子、鈴木 正貴、
堀木 真美子(愛知県埋蔵文化財センター)

司会: 蔭山 誠一(愛知県埋蔵文化財センター)

